

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0801006

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	8 子育て・子育ての充実	事業優先度	B	
単位施策	2 「子育て」支援の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	保育所地域活動事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	8 保育所	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	利用延べ人数		#N/A	
事業目標	600人	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 高齢者との交流	関係例規・法令名		
		関係個別計画名	次世代育成支援行動計画	

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容		
計画 内容	保育所地域活動事業	高齢者との交流事業 地域子育て家庭への育児講座事業	高齢者との交流事業 地域子育て家庭への育児講座事業	高齢者との交流事業 地域子育て家庭への育児講座事業	高齢者との交流事業 地域子育てに関する育児講座開催	高齢者との交流事業 地域子育てに関する育児講座開催		
	事業費(千円)	2,750	550	550	550	550		
計画 事業費	財源内訳							
	国庫支出金	900	300	300	150	150		
	道支出金	0						
	地方債	0						
	その他	0						
一般財源	1,850	250	250	400	400	550		
実績 事業費	事業費(千円)	2,595	455	532	522	531	555	
	財源内訳							
	国庫支出金	1,255	300	300	380	275		
	道支出金	0						
	地方債	0						
その他	0							
一般財源	1,340	155	232	142	256	555		
関連 事項	(特定財源の詳細等) 次世代育成支援対策交付金	【評価・実績】	(実施内容等) 異世代との交流実施 育児に関する情報提供等実施 (実績:1,035人) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 異世代との交流実施 育児に関する情報提供等実施 (実績:1,136人) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 高齢者・小学校児童との異世代間 交流の実施 育児に関する情報提供等実施 (歯磨き教室、七夕会開催) (実績:1250人) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 高齢者、小学校児童との世代間 交流の実施 育児に関する情報提供等実施 (歯磨き教室、七夕会開催) (実績:1,820人) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 高齢者、小・中・高校生との世代 間交流の実施 育児に関する情報提供等実施 (歯磨き教室、七夕会開催) (実績:1,791人) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し)		年度目標値	600人	600人	600人	600人	600人
	年度達成率		83%	97%	95%	97%	101%	
	全体達成率		17%	36%	55%	74%	94%	
	事業進捗状況		☆☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	保育所地域活動事業	評価者 管理職 職氏名	保育所長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	児童保育係長	斉藤智美

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	入所児・保護者・高齢者・子育て中の親	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	事業への参加者数		
【抱える課題やニーズは】	保育所は、他の世代と接する機会や、町民が保育の様子を見る機会がほとんどない。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	交流機会と参加者の確保。保育内容が見られる環境づくり。		① 参加者数	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	他の世代との交流などを通して、特に年長児の自覚と自信や意欲を育てるとともに、町民に保育活動等を知ってもらう機会となるようにする。			目標値	600人
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	世代間交流	長寿クラブの誕生会での遊戯披露や生活発表会等で相互訪問を行った。また、小学生、中学生及び高校生とはお祭り集会、就業体験、クリスマス等で交流を深めた。	実績値	1791人	
	地域子育て家庭への育児講座		達成度	298.5%	
			②	目標年度	年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	世代間交流は、児童の育成に大きな役割を持つとともに、高齢の方々にも喜ばれている。また、保護者や地域を巻き込んだ子育て支援として効果が大きい。この事業については、国の保育指針によって、教育に関する人間関係分野で取り組むこととなっている。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		世代間交流においては、長寿クラブ員などからこうした交流が非常に喜ばれ、また、入所児童にとっても交流そのものや保育所以外での活動は良い経験になる。育児講座においては、家族や地域の方々には保育所の役割についての理解と、関わりを深めることができる。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		教材等については、できるだけ他の事業と共用が図られるよう工夫して事業費を抑えている。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

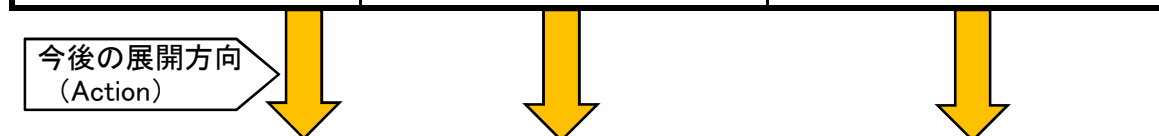
公平	判断の理由		長寿クラブ員や施設利用者、あるいは保護者など、事業ごとに対象範囲を明確にすることにより公平性を保つ。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
世代間交流は、子ども達の心を育てることに大きな役割を持ち、また、保護者や子育て中の方々には保育所開放等とおして情報提供や保育所への理解を深めてもらう機会を多く持った。今後も計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		



継続/現状維持		
今後も内容の検討、充実を図りながら、世代間交流を進め、保護者、子育て家庭に向けては、情報提供、育児講座等地域の子育て向上につながるような支援をしていく。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止